

- 全国大会出場
- 令和8年度島根県高等学校総合体育大会 結果報告
 - 卓球 男子シングルス12年ぶり全国大会出場
 - 陸上競技 ● 珠算・電卓 ● 女子バスケットボール
 - 柔道 ● 男子バスケットボール
 - バレーボール ● ソフトテニス ● サッカー ● 野球
- 第73回中国高等学校選手権大会 結果報告
 - 卓球 ● 柔道 ● 陸上競技

- 第45回島根県高等学校国際教育英語弁論大会
- オンライン英会話
- 普通科に新たな学び「グローバルアカデミックライン」がスタート
- 福祉科だより ● 通信制課程ニュース ● 文化祭のお知らせ
- 体験入学
- 「やってみたい!」が学びにつながる「明誠ワールドシフト」
- 未来共創チャレンジ2026

vol.80

発行／明誠高等学校

2026年(令和8年) 8月28日(金曜日) 第80号

<https://www.meisei-masuda.ed.jp/>

NEW
MEISEI
HIGH SCHOOL



全国大会出場

卓球部
陸上競技部
珠算・電卓部

令和8年度島根県高等学校総合体育大会 卓球競技 男子シングルス12年ぶり全国大会出場 女子学校対抗・単・複完全制覇

6月4日から7日まで開催された令和8年度島根県高等学校総合体育大会卓球競技に出場した。

男子は学校対抗第3位、シングルスではザイルオウチェン③(中国)が第2位となり、男子卓球部として12年ぶりのインターハイ出場を決めた。女子は学校対抗で21年連続31回目の優勝を果たし、シングルス4人、ダブルス2組がインターハイ出場権を獲得。学校対抗・シングルス・ダブルスの完全制覇を成し遂げた。8月に行われるインターハイでは、表彰台を目指して頑張りたい。

【シングルスインターハイ出場】

ザイルオウチェン③(中国)・山田凜③(春日南)・松下愛菜①(益田)・岸凜③(益田)・山田あかり②(益田)

【ダブルスインターハイ出場】

山家音波③(益田)・橋口六華①(益田)組
岸凜③(益田)・山田凜③(春日南)組



シングルス第2位 ザイルオウチェン



シングルス優勝 山田凜



ダブルス優勝 山家 橋口ペア



学校対抗優勝

令和8年度島根県高等学校総合体育大会 陸上競技の部

○総合

男子 5位
女子 8位

○個人

男子 100m 4位

岩本 瑛太③(横田)

200m 5位

岩本 瑛太③(横田)

400m 2位

景山 裕真③(浜田二)

110mH 2位

吉本 日向③(浜田二)

400mH 4位

大館 翼③(浜田三)

4×100mR 3位

(大館・岩本・寺戸・吉本)

4×400mR 2位

(大館・影山・村上・吉本)

女子

800m 5位

東 花帆①(鹿兒島・南指宿)

走高跳 優勝

市川 知佳(益田東)

七種競技 優勝

市川 知佳(益田東)

4×100mR 5位

(茂呂・佐々浦・山本・市川)

4×100mR 5位

(茂呂・東・山本・市川)

男子リレー2種目・個人5種

目、女子はリレー2種目・個人

3種目で入賞した。この種目で

中国高等学校陸上競技選手権大

会に出場し、上位6位までがイ

ンターハイの切符を手にするこ

とになる。



走高跳優勝 市川知佳

令和8年度 第73回 全国高等学校 ビジネス計算 競技大会島根県予選

令和8年6月9日、島根県立浜田商業高等学校で、令和8年度第73回全国高等学校ビジネス計算競技大会 島根県予選が開催された。3年生2人・2年生3人で出場した。練習を重ね、珠算の部 団体総合競技で見事優勝を果たし、全国大会57年連続出場を決めた。種目別競技では、石田莉緒奈③(益田東)が、ビジネス計算(応用計算)で3位入賞を果たした。8月4日、横浜武道館(神奈川県)で行われる全国大会には、団体総合競技・種目別競技に入賞をめざして出場する。

島根県高等学校総合体育大会 柔道競技の部

○団体

男子 3位

女子 3位

○個人

男子 90キロ級 3位

山下憧馬②(岡山・津山東)

100キロ超級 3位

中村義晴②(高津)

女子

52キロ級 2位

和田真凜①(三隅)

70キロ級 2位

中本琴音③(山口・常盤)

78キロ級 2位

徳原碧芭①(山口・深川)



優勝すればインターハイ出場が決まる大会であったが、その切符を手にすることはできなかった。例年出場している全国大会への出場もかなわず、悔しい結果となったが、選手たちはこれまでの練習の成果を精一杯発揮し、最後まで粘り強く戦い抜いた。ご声援ありがとうございました。



島根県高等学校総合体育大会 バスケケットボール競技

1回戦から力のあるチームとの対戦で、厳しい試合が続いた大会であった。準々決勝の松江北高校戦は、とても良いチームで粘り強く惜しくも勝つことができなかった。明誠高校の選手たちはチームが一つになり、よく頑張った戦ったように思う。次の選手権に向けてまた頑張っていきたい。

結果 ベスト8
1回戦 対 出雲高校
90-70 ○
2回戦 対 益田翔陽高校
62-58 ○
準々決勝 対 松江北高校
58-62 ●



島根県高等学校総合体育大会
バレーボール競技

(結果)

1 回戦目 vs 平田高校
0-2 負
1 回戦敗退という結果となったが、点差が開いていても誰一人として諦めることなく、最後まで粘り強く戦う姿勢を見せてくれた。選手たちは非常によく頑張ったが、一歩及ばず悔しい敗戦となった。3 年生はこれで引退となるが、これまで積み重ねてきた努力や経験を自分の強みに変え、今後の学校生活に生かしてほしい。

多くの方々や合同チームを組んでいただいた高校をはじめ、

島根県
高校総体
ソフトテニス

石田莉緒奈③(益田東)、田中結①(益田)ペアが出場した。1 回戦から強豪の浜田高校相手にファイナルセットまでもつれる熱戦だったが、見事勝利することができた。2 回戦は大杜高校相手に3-0 で敗れた。力の差が出たものの、最後まで諦めずに全力でプレーすることができたことは収穫である。3 年生が卒業し、1 年生2 名での活動

島根県高等学校総合体育大会
サッカーの部

1 回戦は合同チーム(出雲商業高校・出雲農林高校・情報科学高校)を相手に10 対0 で勝利することができた。続く2 回戦も出雲高校を相手に3 対0 で複数得点・無失点で勝利することができた。

益田で開催された準々決勝では、新人戦覇者の立正大湊南高校との試合となり多くの方々に応援に来ていただいたが、0 対3 と敗れ、力の差を感じる試合となった。

今回の悔しさを力に変えて、選手権に向けて努力していきたいと思う。



沢山のご支援・ご協力をいただいたことに感謝している。今後、少人数での活動となるが、感謝の気持ちを忘れず、引き続きチーム一丸となって頑張っていきたい。

となる。人数が少ない中ではあるが、日々の練習を大切に精一杯、頑張っていきたい。

第108回
全国高等学校
野球選手権
大会

島根大会

7 月11 日から7 月26 日にかけて行われている、第108 回全国高等学校野球選手権島根大会に出場した。新体制となり初の夏。13 日の初戦は浜山公園野球場で大杜高校と対戦した。

大応援団からの声援を背に選手たちは自分のできることを一生懸命に頑張っていた。スコア

は1-3 と惜しくも負けてしまったが、選手たちが見せた戦う姿勢は見に来てくださった様々な方々に感動を与えたのではないだろうか。

まだまだ勝ちには繋がっていないが、これからも応援してもらえ、これからも応援してもらえ、日々の練習を大切に精一杯、頑張っていきたい。



第73回中国高等学校卓球選手権大会

6 月20 日から22 日まで第73 回中国高等学校卓球選手権大会が鳥取県鳥取市のヤマタスポーツパークで開催された。男子学校対抗は2 回戦敗退、個人戦は3 名が出場し、シングルスで3 年生のザイルオウチェン③(中国)が16 位と入賞を果たした。

女子学校対抗では、連覇を狙ったが、準決勝で広島県の進徳女子高校に2-3 で惜しくも敗れ、3 位に終わった。残念ながら、ダブルスでは入賞することはできなかったが、シングルスで、山田凜

③(春日南)が2 位、岸凜



第73回中国高等学校柔道大会

男子 予選リーグ敗退
女子 予選リーグ敗退

個人
70キログ級 2 位
中本琴音③(山口・常盤)

6 月13・14 日に山口県周南市で開催された中国大会に、男子・女子団体戦と個人戦に3 名が出場した。団体戦は男女共に予選リーグで敗退した。個人戦では、中本が予選リーグを突破し、決勝リーグへ進出した。決勝リーグ1 回戦では、自分の持ち味を発揮して確実に勝利を収めた。続く準決勝では今大会優勝者に対戦し、力の差を感じる結果となったものの、見事3 位入賞を果たした。1・2 年時は予選リーグ敗退に終わったが、3 年目にして集大成となる結果を残した。



中国高等学校陸上競技対校選手権大会

男子 100m 6 位
岩本 瑛太③(横田)

女子 走高跳 4 位
市川 知佳②(益田東)
七種競技 2 位
市川 知佳②(益田東)

男子100m において岩本瑛太が6 位に入賞し、インターハイ出場を決めた。本年度は非常にレベルが高く決勝

進出も厳しかったが、最後まであきらめず走り切った結果だと評価している。また、島根県選手が6 位入賞に4 人入る快挙を成し遂げた。女子では市川知佳が昨年に続き走高跳で4 位に入賞、七種競技では2 位に入賞し2 種目でインターハイ出場



インターハイ出場を決めた岩本瑛太

を決めた。男子4×100mR もインターハイを狙ったがもう一つ届かなかった。どの種目においても選手たちはよく頑張った。

第45回島根県高等学校
国際教育英語弁論大会

「僕の名前はリオネル・ワールドロンです。僕はその名前に誇りを持っています。けれど、それを恥ずかしいと思った時がありました。」彼のスピーチはこう始まる。もちろん英語でだが。二つの文化の中で自分は誰なのか、自分の居場所はどこなのか。自分に問い続けながら、時に迷い、いらだち、最後に自分は自分でいいのだという思いにたどり着いた自分探しの旅の話をしてくれた。静かな空気の中に彼の熱い思いがみなぎり、そこにいるすべての人が聞き入っているのを感じた。今年で45 回となる英語弁論大会が6 月12 日に大杜高校で行われ、本校から3 年生のリオネルが出場し、銀賞を手に入れることができた。本校は



第45回島根県高等学校国際教育英語弁論大会
島根県高等学校国際教育研究協議会

オンライン英会話

本校では週に一度、フィリピンの先生とオンラインでの英会話レッスンを行っている。6 年前に始まった試みで、ZOOM を使って現地の先生と直接やり取りをする。先生はもちろん日本語が分からないため、生徒の側では何となく考えを伝えなければならぬ。この「なんとか」というのが大切で、その苦労を通して、見て分かる語彙が、使える語彙へと変わって行く。1 年生から3 年生までそれぞれ異なるテキストを使ってのレッスンだが、このテキストは本校用に業者の責任者の方と一緒に、2 年かけて作成した。まず、たたき台として送ってもらったテキストを実際に使い、生徒の反応を見て、



体験入学

7月11日・8月19日に学科体験、8月18日に部活動体験を開催し、県内外から多くの中学生が参加した。全体会では、令和9年度から普通科に新設される「グローバルアカデミックライン(GAL)」をはじめ、本校の特色ある学びについて紹介した。

今年の体験入学では、ワールドシフトの活動をきっかけに、運営に興味を持った生徒が自ら手を挙げ、司会進行に挑戦した。アイスブレイクの企画や司会台本の作成にも携わり、当日は中学生との交流を楽しみながら、笑顔で進行を務めた。体験入学は、中学生に本校の魅力を伝えるだけでなく、運営に携わった生徒にとっても主体的に行動する力や協働する力を育む貴重な機会となった。

普通科

受付

福祉科

全体会

「やってみたい!」が学びにつながる「明誠ワールドシフト」

昨年度から始まった「明誠ワールドシフト(WS)」は、生徒一人ひとりの「やってみたい!」を大切に探究学習である。教室を飛び出し、地域の人々との関わりを通して、実践を重ねながら学びを深めている。現在は、益田「米」プロジェクトやスマホ相談会、コーディング体験など、地域と連携したさまざまなプロジェクトが進行している。また、自分の興味や得意分野を生かして主体的に活動する生徒も増えている。活動を通して、生徒たちは自分で考えて行動する力や、他者と協力する力を身に付けている。「やってみたい!」という思いが新たな挑戦へとつながり、自身の可能性や新たな強みに気付くきっかけにもなっている。



アフリカ布でジュジュ作り



スマホ相談会



益田「米」プロジェクト



中間発表の様子

普通科に新たな学び「グローバルアカデミックライン」がスタート

日本にいながら、世界へ。2027年4月、普通科に新たな学びの道「グローバルアカデミックライン」が誕生する。合言葉は、英語「を」学ぶから、英語「で」学ぶへ。オンラインで米国の高校の授業を受け、希望者は日米二つの卒業資格「ダブルディプロマ」にも挑戦できる。まさに「留学しない留学」である。さらにワールドシフトなど地域と世界をつなぐ探究で、自ら問いを立て、行動する力を磨く。目指すのは、大学合格というゴールではない。その先で、どう生きるかである。問われるのは偏差値ではなく「何をしたか」という物語。世界を舞台に、自分の道を切り拓く3年間で、明誠から始まる。乞うご期待。



地域みらい留学高校フェス(東京)に出展

福祉科だより

介護実習

福祉科では、5月から7月にかけて、3学年がそれぞれの施設で実習を実施した。1年生は高齢者施設・障害者施設の見学実習(1日)、通所介護施設実習(7日間)、2年生はグループホーム実習(6日間)・特定施設実習(6日間)。3年生は高齢者施設実習(23日間)を、市内外の多くの施設のご協力のもと、貴重な学びの機会を得ることができた。

実習では、各施設や専門職の役割について理解を深めるとともに、専門職の方々の姿勢や利用者との関わり方を通して、福祉職としての心構えや職業観を学ぶ機会となった。



高校生介護技術コンテスト



また、福祉科全学年の生徒が観覧し、他校の発表を通して新たな気付きや今後の課題を見つける貴重な機会となった。

6月10日に益田翔陽高校において、令和8年度高校生介護技術コンテスト島根県大会が開催された。福祉を学ぶ高校生が、課題事例に対する介護技術や対応力を競い合った。本校からは大場志姫③(東陽)・大谷瑠菜③(益田東)・篠原神汰③(益田)が代表として出場し、当日の課題に臨機応変に対応しながら、これまでの学習や練習の成果を発揮して競技に臨んだ。

文化祭

9月26日(土) AM
文化部発表
9月27日(日)
模擬店

未来共創
チャレンジに
初出場

松場公汰①(大田三)がリーダーを務める「ひまわりオイルプロジェクト」が、しまね・とっとり未来共創チャレンジに初出場した。「ワールドシフト」の授業で生まれた同プロジェクトは、ひまわりを育てて地域を盛り上げながら、上質なヘアオイルを作ることを目指している。松江商工会議所でのスタートアップDAYでは、県内から集まった17チームとアイデアを切磋琢磨。プロジェクトに力を入れる思いや未来への展望を熱くプレゼンし、無事5期生として採択された。最終発表会は12月。それまでの間、地域の社会人がメンターとして半年間伴走し、アワード獲得を目指してさらなる探究が続く。

通信制課程ニュース TSUSHIN NEWS

11月1日より出願受付開始

中学3年生を対象に、令和9年度4月通信制課程入学生の出願受付を、11月1日より開始します。出願期間は、11月1日～3月31日です。選考方法は、書類審査及び面接試験になります。

また、通信制課程への入学を検討している方や、学校生活について詳しく知りたい方、実際の授業の様子を見学したい方などを対象に、個別面談を随時受け付けています。一人ひとりの状況に応じて丁寧な説明を行っていますので、お気軽にお申し込みください。なお、出願書類の請求や面談のお申し込みは、在籍する学校を通して受け付けをしています。

